

2005年12月14日

会社名 株式会社 高島屋  
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 弘治  
 〒番号 8233

## 2005年11月度 高島屋営業報告

### 【総計】(前年対比、単位：%)

㈱高島屋計	分社4店含む実質
+5.6	+5.8

百貨店事業、広域事業ともに前年売上実績を上回り、分社4店含む実質では+5.8%となった。前年実績のクリアは9月度以降、3ヵ月連続となった。

分社4店とは、関西地区の岡山高島屋・岐阜高島屋・米子高島屋、関東地区の高崎高島屋です。

### 【百貨店事業概況】(前年対比、単位：%)

分社4店除く	18店計
+5.8	+6.0

気温の低下に伴う防寒衣料や歳暮等の季節商材の動きが良く、売上は前半から前年実績を上回って推移した。関西地区は+2.5%、関東地区は+8.3%、18店計では+6.0%となり、17店が前年実績をクリアした。

### 【店舗別概況】(前年対比、単位：%)

関西地区	大飯店	京都店	泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋
売上高	+1.3	+1.1	+2.8	+7.2	+14.4	+1.0
入店客数	2.2	3.8	+2.6	2.5	+14.8	5.5

関西地区合計	
分社3店除く	9店計
+1.3	+2.5

大飯店の売上高には和歌山店・堺店の売上高を、京都店の売上高には洛西店の売上高をそれぞれ含みます。

大飯店・京都店の入店客数はそれぞれ単店になります。

関東地区	東京店	横浜店	新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋
売上高	+11.1	+7.9	+7.6	+10.5	+8.8	1.0	+6.0	+6.5
入店客数	3.4	+2.2	4.6	0.0	+1.5	1.0	2.4	+1.8

関東地区合計	
分社1店除く	9店計
+8.4	+8.3

横浜店の売上高には港南台店の売上高を含みます。

横浜店の入店客数は単店になります。

店別では大型5店をはじめ、玉川店・立川店・岡山店・岐阜店等の17店が前年実績をクリアした。関西地区では、大飯店は食料品が2桁の売上増に加えて、高額商品群である宝飾品・呉服等に動きがあり、前年実績を上回った。京都店は衣料品や雑貨、呉服等が堅調に推移。また、10月にリニューアルオープンした岐阜店は婦人服・食料品・食堂等の改装効果が特に大きく前年実績を大きくクリア。関東地区では、東京店・横浜店・新宿店の大型3店で宝飾品・特選衣料雑貨等の高額商品群や冬物衣料の動きが良い紳士服・婦人服等が好調で前年実績を上回った。また、玉川店では紳士服・宝飾品・食料品等が売上を2桁伸ばし、好調を維持した。お歳暮ギフトセンターは送料無料や早期割引キャンペーン等のサービス施策も奏効し、各店立上りから11/30までの累計売上では+13.5%と前年実績を大きく上回って推移した。

### 【広域事業概況】(前年対比、単位：%)

	法人事業	通販事業	広域計
売上高	+5.3	+0.1	+3.2

法人事業は企業向け販促品の受注が好調、通販事業は紳士・婦人衣料品が伸び悩むものの、リビング商材が好調で前年実績をクリアした。

### 【商品別概況(百貨店協会商品区分)】(前年対比、単位：%)

	分社4店除く	18店計
紳士服・洋品	+9.5	+9.1
婦人服・洋品	+1.0	+1.5
子供服・洋品	+2.8	+2.3
その他衣料品	+11.9	+11.1
衣料品計	+3.9	+4.0

	分社4店除く	18店計
身のまわり品	+4.4	+4.8
家具	+1.7	+1.4
家電	+7.0	+5.6
その他家庭用品	+4.5	+4.3
家庭用品計	+4.0	+3.6

	分社4店除く	18店計
食料品	+8.5	+8.8
食堂・喫茶	+2.3	+3.5
雑貨	+7.6	+8.0
サービス	+2.4	+2.7
その他	2.0	2.2
合計	+5.6	+5.8

### 当社分類による百貨店事業の商品別概況

気温の低下を受けて防寒衣料の動きが活発であった。紳士服(前年対比+13.6%)・婦人服(同+4.8%)ではカミヤ等の高級素材のコートやセーター・ジャケット、紳士雑貨(同+4.0%)・婦人雑貨(同+4.6%)ではマフラーや手袋、保温性の高い機能性肌着等が好調に推移した。その他にも婦人アクセサリや化粧品等が好調であった。また、10月度に続き前年実績をクリアした特選衣料雑貨(同+7.4%)や時計、宝石・貴金属が好調な宝飾品(同+15.7%)、呉服(同+9.2%)等の高額商品群が売上を大きく伸ばした。